安全データシート · OSHA HCS 2024

Isopropyl Alcohol 25% Technical Grade

25%

準拠規格	改訂日	緊急連絡先
OSHA HCS 2024 · GHS Rev. 7	2026-11-25	Chemtel 1-800-255-3924 (24/7)

1 化学品及び会社情報

製品識別子	Isopropyl Alcohol 25% Technical Grade
濃度	25%
CAS番号	67-63-0
化学式	C3H8O
分子量	60.1 g/mol
製造者	Alliance Chemical 204 South Edmond Street, Taylor, TX 76574
緊急連絡電話番号	Chemtel 1-800-255-3924 (24/7)
別名	2-Propanol溶液; isopropanol 25%; IPA 25%; isopropyl alcohol / 脱イオン水 25/75 (v/v)
推奨用途	脱イオン水を用いた即使用可能な洗浄・すすぎ溶液；ガラス、光学機器および装置の洗浄；表面の拭き取り；汎用溶剤ブレンド。
使用上の制限	工業用：医薬品、食品、化粧品用ではありません。飲用不可。引火性。

2 危険有害性の概要



引火性



刺激性 / 有害性

分類	引火性液体 区分3 眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 区分2A 特定標的臓器毒性（単回ばく露） 区分3（麻酔作用）
注意喚起語	**警告**
危険有害性情報	H226 引火性液体及び蒸気 H319 強い眼刺激 H336 眠気又はめまいのおそれ

注意書き

P210 熱，高温のもの，火花，裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
P233 容器を密閉しておくこと。
P240 容器を接地しアースをとること。
P241 防爆型の電気機器、換気装置及び照明機器を使用すること。
P242 火花を発生させない工具を使用すること。
P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
P261 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーの吸入を避けること。

P264 取扱い後は手や顔をよく洗うこと。

P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。

P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

P303+P361+P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。

P304+P340 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し，呼吸しやすい姿勢で休息させること。

P305+P351+P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

P312 気分が悪いときは医師に連絡すること。

P337+P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。

P370+P378 火災の場合：消火には耐アルコール泡消火剤、二酸化炭素又は粉末消火剤を使用すること。

P403+P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403+P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

P501 内容物／容器を地方、地域、国及び国際的な規制に従って廃棄すること。

分類、危険有害性情報（H）、注意書き（P）及び絵表示は、OSHA HCS 2024（29 CFR 1910.1200 付録A〜C）に従い、GHS改訂7版に整合する。

3 組成及び成分情報

成分	CAS番号	化学式	濃度
イソプロピルアルコール	67-63-0	C3H8O	24-26% (v/v)
水	7732-18-5	H2O	残部 (v/v)

濃度は公称値であり、ロットごとの数値は分析証明書に記載されています。分類に寄与しない成分は省略されています。

4 応急措置

眼

多量の水で少なくとも15分間洗い流してください。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外してください。洗浄を続け、直ちに医師の診察を受けてください。

皮膚

汚染された衣類を脱がせながら、直ちに多量の水で少なくとも15分間洗い流してください。石けんで洗い、直ちに医師の診察を受けてください。

吸入

被災者を新鮮な空気の場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休ませてください。呼吸が困難な場合は酸素を与えてください。呼吸していない場合は人工呼吸を行い、直ちに医師の診察を受けてください。

飲み込んだ場合

無理に吐かせないでください。意識のない人には口から何も与えないでください。意識がある場合は口を水ですすぎ、直ちに医師の診察を受けてください。

最も重要な症状及び影響

眼に入ると刺激（発赤、痛み、流涙）を起こす。

蒸気を吸入すると眠気、めまい、頭痛及び吐き気を起こすおそれがある。

直ちに必要な医療措置及び特別な処置

対症療法を行うこと。症状が現れた場合又は持続する場合は医師の診察を受けること。

5 火災時の措置

適切な消火剤

耐アルコール泡、CO2、乾燥化学粉末。火災にさらされた容器の冷却には、水の噴霧を用いることができる。

使ってはならない消火剤

棒状水は使用しないこと — 火災を飛散・拡大させるおそれがある。

特有の危険有害性	蒸気は空気より重く、空気と爆発性混合物を形成するおそれがある。着火源まで移動して逆火するおそれがある。 加熱により容器が破裂するおそれがある。
保護具	空気呼吸器および完全な保護衣を着用してください。
危険有害な燃焼生成物	燃焼により一酸化炭素および二酸化炭素が発生する。

6 漏出時の措置

人体に対する注意事項	第8項に記載の保護具を使用してください。十分な換気を確保し、作業者を安全な場所へ避難させてください。
危険有害性に応じた注意事項	すべての着火源を取り除くこと。火花を発生させない工具及び防爆型の機器を使用し、清掃中は容器を接地・ボンディングすること。
環境に対する注意事項	漏えい物が排水溝、下水道または水路へ流入しないようにしてください。
封じ込めおよび浄化の方法	不活性吸収材で吸収し、適切な廃棄容器に回収してください。関連法令に従って廃棄してください。

7 取扱い及び保管上の注意

安全な取扱い	十分な換気のもとで使用してください。皮膚、眼および衣類との接触を避け、取扱い後は十分に洗浄してください。使用しないときは容器を密閉してください。
安全な保管	冷涼で乾燥し換気の良い場所に、熱、火花および裸火から離して保管すること。相容れない物質から離して保管すること（セクション10参照）。容器は堅く密閉しておくこと。移送時には容器を接地およびボンディングすること。
保管上の特別な注意事項	着火源及び酸化剤から離れた、涼しく換気の良い可燃物保管場所で容器を密閉して保管すること。容器を接地・アースすること。

8 ばく露防止及び保護措置

職業暴露限界

限度	値
OSHA PEL	400 ppm TWA
ACGIH TLV	200 ppm TWA / 400 ppm STEL
NIOSH REL	400 ppm TWA / 500 ppm STEL
IDLH	2000 ppm

設備対策	十分な換気を行ってください。使用区域の近くに洗眼設備および安全シャワーを設置してください。
眼／顔面の保護具	化学用保護めがねまたはフェイスシールドを着用してください。
皮膚の保護	耐薬品性手袋および保護衣を着用してください。
呼吸用保護具	有機ガス用カートリッジを装着したNIOSH承認の呼吸用保護具を使用してください。密閉空間でのばく露またはばく露限界を超えるおそれがある場合は、送気式呼吸用保護具を使用してください。

ばく露限界はNIOSH Pocket Guide、OSHA 29 CFR 1910.1000およびACGIH TLVに基づいています。

9 物理的及び化学的性質

外観	微かなアルコール臭のある、無色透明の液体
臭気	アルコール様臭
臭いの閾値	データなし
pH	データなし
融点／凝固点	約-7 ～-15 °C（20 ～ 5 °F）、20–30% v/v isopropyl alcohol-水溶液の凝固点（公表表）
沸点	沸騰範囲 82–100 °C (180–212 °F)
引火点	約27～28 °C (81–82 °F)、密閉式（公表された測定値からの補間）
蒸発速度	データなし
可燃性（固体、気体）	データなし
燃焼又は爆発範囲の上限／下限	LEL 2% / UEL 12%（空気中 v/v、isopropyl alcohol 蒸気）
蒸気圧	データなし
蒸気密度	2.1 (空気 = 1) (isopropyl alcohol 蒸気)
相対密度	0.971 (20/20 ℃) (水＝1)
溶解度	水と完全に混和する
n-オクタノール／水分配係数	データなし
自然発火温度	399–425 °C (750–797 °F) (isopropyl alcohol)
分解温度	データなし
粘度	データなし
粒子特性	データなし
密度	0.9691 g/cm³（20 ℃における）

表示されている値は製品固有の標準データを反映しています。ロットごとの範囲は異なる場合があります。出荷ロットの試験成績書を参照してください。

10 安定性及び反応性

反応性	通常の使用及び保管条件下では反応性はない。
化学的安定性	推奨される保管条件下で安定です。
危険有害反応可能性	通常の取扱条件下ではありません。
避けるべき条件	熱、火花、裸火、静電気放電およびその他の着火源。蒸気は空気より重く、着火源まで移動するおそれがある。
混触危険物質	強酸化剤（過酸化物、硝酸、過塩素酸塩、次亜塩素酸塩）、強酸、酸無水物、ハロゲン、およびアルカリ金属（水素を発生する）。
危険有害な分解生成物	燃焼により一酸化炭素および二酸化炭素が発生する。

11 有害性情報

投与経路別の急性毒性データについては以下を参照のこと。

想定されるばく露経路	吸入、皮膚接触、眼接触、経口摂取。
症状	眼に入ると刺激（発赤、痛み、流涙）を起こす。 蒸気を吸入すると眠気、めまい、頭痛及び吐き気を起こすおそれがある。

遅発性及び慢性の影響　2項の分類以外に遅発性又は慢性の影響は確認されていない。

経路	値
経口LD50（ラット）	4,700～5,840 mg/kg (isopropyl alcohol)
経皮 LD50（ウサギ）	12,800～16,400 mg/kg (isopropyl alcohol)
LC50 吸入 (ラット、4時間)	72.6 mg/L (isopropyl alcohol 蒸気)

発がん性分類

機関	ステータス
IARC	グループ3 — ヒトに対する発がん性について分類できない（イソプロピルアルコール、IARC対象物質：イソプロピルアルコール、モノグラフ15, Sup 7, 71）。
NTP	発がん性物質として記載されていません。
OSHA	発がん性物質として記載されていません。

12 環境影響情報

生態毒性　ミジンコ EC50: > 10000 mg/L (24時間、Daphnia magna (24時間 EC50)); 魚類 LC50: 9640 mg/L (96時間、Pimephales promelas); 藻類 NOEC (慢性): 1800 mg/L (168時間、Scenedesmus quadricauda (7日 NOEC))

残留性・分解性　非残留性 — 易生分解性（72–78%、20日）

生物蓄積性　log Kow 0.05 (25 °C)、BCF 1（計算値；生物蓄積性なし）

土壌中の移動性　土壌中での移動性が極めて高い (log Kow 0.05)

13 廃棄上の注意

内容物／容器は、適用される連邦、州および地方の法令に従って廃棄してください。排水溝や水路へ放出しないでください。

EPA RCRA廃棄物コード　D001（引火性）：引火点60 °C未満、かつアルコール体積比24 %未満の水溶液に対する除外規定は25 % v/vには適用されない（40 CFR 261.21(a)(1)）。Isopropyl alcoholは、Pリスト、Uリスト、またはFリストに記載された廃棄物ではない。

廃棄する場合、本品は引火性の有害廃棄物（EPA RCRA D001、40 CFR 261.21(a)(1)：引火点60 °C未満。ただし、アルコール含有量が24体積%未満の水溶液は除く）に該当するおそれがある。 有害廃棄物に該当するかの最終判断は廃棄物の排出者が行うこと。

14 輸送に関する情報

US DOT (49 CFR)

国連番号　UN1987

正式輸送品名　Alcohols, n.o.s. (Isopropanol)

危険有害性クラス　3

容器等級　III

米国DOTの追加要件	UN1219 (Isopropanol) は容器等級IIにのみ収載されているため、この容器等級IIIの溶液は UN1987, Alcohols, n.o.s. として輸送される。5 L以下の内装容器は少量危険物として輸送可能である (49 CFR 173.150(b))。海洋汚染物質には該当しない。

IMDG／IATAの分類は米国DOTと異なる場合がある。国際輸送の前に最新の規制を確認すること。

15 適用法令

インベントリ／リスト	ステータス
カリフォルニア州提案65号	非該当
米国環境保護庁（EPA）TSCAアクティブインベントリ	収載
EPCRA SARA 313 (TRI)	強酸法で製造されるイソプロピルアルコールのみ（供給者による通知は不要）として掲載
CERCLA報告対象量（RQ）	CERCLA有害物質に該当しない（RQなし）。

SARA 311/312の危険性区分は、第2項のGHS分類に対応します。 データ取得日： カリフォルニア州提案65号 2026-11-02; 米国環境保護庁（EPA）TSCAアクティブインベントリ 2026-11-02; EPCRA SARA 313 (TRI) 2026-11-02.

16 その他の情報

改訂日	2026-11-25
書式	OSHA HCS 2024（29 CFR 1910.1200 付録D）に基づく16項目の書式。GHS改訂7版に整合。

免責事項： 本安全データシートに記載された情報は、発行日時点で当社の知る限り正確なものです。本情報は特定された製品のみに関するものであり、他の物質との併用については対象としていません。ALLIANCE CHEMICAL は、商品性または特定目的への適合性を含め、明示または黙示を問わずいかなる保証も行いません。ALLIANCE CHEMICAL は、本製品の取扱い、保管、使用または廃棄から生じる損失、傷害、損害または費用について一切の責任を負いません。

Alliance Chemical, 204 South Edmond Street, Taylor, TX 76574。本安全データシートは、本製品について登録されている規制データに基づいて作成されている。